

2016年度 GSK 医学教育事業助成の概要

学会名

日本摂食嚥下リハビリテーション学会

正式名称

多職種連携を实践する人材育成モデル構築事業

医学教育事業の概要

医師、歯科医師、看護師、療法士、管理栄養士等医療者間及び患者コミュニケーションのトレーニングプログラムの開発・実施 [実施形式として集合型トレーニングプログラムとWEB学習支援コンテンツ]

医学教育事業の対象者

主な医療関係者：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士）

対象となる医療関係者の想定人数：50人

医学教育事業の必要性

本学会は1995年設立して以来、会員数が毎年増え続け、2016年には13,000人を超える学会である。学術集会の開催と機関誌の発行に加えて、認定士制度、認定士単位セミナーや市民公開講座の開催、e-learningによる学習システム、研究助成金制度、診療ガイドラインの策定など、さまざまな事業を行っている。事業の中で医学教育に関わる項目は重要事項である。

医学教育事業の目的

学会の会員は医師、歯科医師、看護師、療法士、管理栄養士など多岐にわたっており医療職間および対患者のコミュニケーション技法を会員に習得させることは重要事項と考える。コミュニケーション技法の習得は早期の患者の回復や生活の質の向上に結びつくと考えている。本教育事業では、患者中心のチーム医療を遂行する上で必要なコミュニケーション技法の実践を通して学ぶことのできる教育研修プログラムを開発実施し、事業終了後も同プログラムを継続実施する体制を構築することを目的とする。

医学教育事業の計画・方法等

【概要】

医療者間及び対患者コミュニケーションのトレーニングプログラムを提供する。

- | | |
|---|--|
| ・コーチング
- 多職種間コミュニケーション
- 対患者コミュニケーション | ・ペイシェント・エクスペリエンス (PX)
- ペイシェント・エクスペリエンス・マネジメント (PXM)
- ペイシェント・ジャーニーマップ |
|---|--|

【教育形態】

実施形式：集合型トレーニングプログラム・WEB学習支援コンテンツ

実施回数：全12回（月1回開催）、実施時間：半日（1回）

参加形態：参加者が毎月1回、計12回プログラムを受講

開催場所：東京、講師：コーチ有資格者

【カリキュラム】

第1回：本プログラム全体の目的と進め方

第2回：コーチング概論

第3回：医療現場で活用するコーチングの基本スキル

第4回：多職種間コミュニケーションに活用するコーチングスキル（前編）

第5回：多職種間コミュニケーションに活用するコーチングスキル（後編）

第6回：対患者コミュニケーションに活用するコーチングスキル（前編）

第7回：対患者コミュニケーションに活用するコーチングスキル（後編）

第8回：振り返りと目標再設定

第9回：PX概論、第10回：PXM、第11回：ペイシェント・ジャーニーマップ、第12回：総括

医学教育事業の成果に対する情報共有について

- 1.当学会ホームページや機関誌、学術集会で情報共有を行う。
- 2.医療専門メディアへの周知及び記事化の依頼